

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
吉野川市	山川地区	令和6年3月27日	令和5年3月27日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	187.91 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	150.79 ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	50.42 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	23.14 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	41.71 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

西部は比較的圃場の形状が整っているが、内水により水に浸かる場所があるため、畑作に適していない部分がある。また、中山間地では休耕地や荒廃農地が目立つ様になっている上、一枚あたりの農地が狭く、耕作条件も悪い。さらに鳥獣被害も増加している。耕作者のほとんどいない地域もあり、集落の存続にも影響を及ぼす可能性がある。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

地区内で貸し出し希望農地が出た場合は中心経営体に集約するよう取り組んでいく。また、新規就農者の育成や他地区からの受け入れができるよう取り組んでいく。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農法		大豆+飼料米+飼料作物+野菜	1.87 ha	大豆+飼料米+飼料作物+野菜	1.87 ha	
認農法		野菜	2.98 ha	野菜	10.00 ha	
認農法		水稲+野菜	2.77 ha	水稲+野菜	10.00 ha	
認農		水稲+野菜	2.00 ha	水稲+野菜	2.00 ha	
認農		水稲+野菜	3.87 ha	水稲+野菜	3.87 ha	
認農		野菜	0.26 ha	野菜	0.26 ha	
認農		水稲+野菜	0.51 ha	水稲+野菜	0.51 ha	
認農		肉用牛		肉用牛		
認農		野菜	0.81 ha	野菜	1.50 ha	
認農		水稲+野菜	4.91 ha	水稲+野菜	8.00 ha	
認農		野菜	0.17 ha	野菜	4.00 ha	
認農		野菜+果樹	1.20 ha	野菜+果樹	1.80 ha	
認就		野菜	0.33 ha	野菜	0.62 ha	
認就		野菜	1.16 ha	野菜	5.00 ha	
認就				水稲+野菜	1.50 ha	
認就		野菜	3.23 ha	野菜	8.00 ha	
認就		野菜	0.35 ha	野菜	1.25 ha	
認就		水稲+野菜	1.40 ha	水稲+野菜	6.00 ha	
認就		野菜	0.51 ha	野菜	1.70 ha	
認就		野菜	1.23 ha	野菜	2.25 ha	
認就		野菜	0.49 ha	野菜	1.00 ha	
到達		野菜	2.11 ha	野菜	2.11 ha	
到達		野菜	0.63 ha	野菜	0.63 ha	
到達		野菜	0.68 ha	野菜	0.68 ha	
到達		水稲+野菜	1.51 ha	水稲+野菜	2.01 ha	
到達		野菜	2.61 ha	野菜	2.61 ha	
到達		水稲+野菜	0.28 ha	水稲+野菜	0.28 ha	
到達		肉用牛		肉用牛		
到達		水稲+野菜	1.26 ha	水稲+野菜	1.26 ha	
到達		野菜	1.87 ha	野菜	2.00 ha	
計	30人		40.99 ha		82.70 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

<p>農地中間管理機構の活用方針 将来の経営農地の集約化や効率的な営農の他、中心経営体が病気や怪我等の事情で営農の継続が困難になった場合には新たな受け手への付け替えをスムーズに進めることができるよう、農地中間管理機構の活用を推進する。</p>
<p>新規作物等の導入方針 既に農地の確保が十分にされている中心経営体については収益性の高い作物や新規作物の導入等の推進を検討する。</p>
<p>鳥獣被害防止対策の取組方針 猟友会との連携により被害状況の把握や、侵入防止柵の活用等を推進する。</p>

